

## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月7日

上場会社名 ヨネックス株式会社

上場取引所

東

コード番号 7906 URL <http://www.yonex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林田 草樹

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 米山 修一

TEL 03-3839-7112

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日

配当支払開始予定日

2019年11月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	31,820	4.0	1,711	△1.0	1,564	△16.2	1,169	△18.0
2019年3月期第2四半期	30,584	△5.1	1,728	△7.6	1,865	△2.4	1,426	8.8

(注)包括利益 2020年3月期第2四半期 919百万円 (△10.4%) 2019年3月期第2四半期 1,026百万円 (△23.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	13.37	—
2019年3月期第2四半期	16.33	16.30

※「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」は、株式給付信託口が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めて算出しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	55,259	38,273	69.2
2019年3月期	54,272	37,494	69.0

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 38,242百万円 2019年3月期 37,454百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
2020年3月期	—	2.50			
2020年3月期(予想)			—	2.50	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,500	3.9	2,500	0.7	2,500	1.2	1,750	1.6	20.01

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※「1株当たり当期純利益」は、2019年3月期末時点で株式給付信託口が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めて算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	93,620,800 株	2019年3月期	93,620,800 株
2020年3月期2Q	6,094,346 株	2019年3月期	6,183,651 株
2020年3月期2Q	87,463,171 株	2019年3月期2Q	87,346,750 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※「期末自己株式数」には、株式給付信託口が保有する当社株式数が含まれております。また「期中平均株式数(四半期累計)」の計算において控除する自己株式には、株式給付信託口が保有する当社株式の期中平均株式数が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

業績予想等の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は2019年11月7日(木)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、国内向けのウェア、シャトルコック、バドミントンとソフトテニスのラケット等の売上が伸長したことに加え海外代理店向けの売上也増加しました。中国については新製品効果や在庫調整が一定程度進捗したことによって売上が回復基調となり、連結売上高は31,820百万円(前年同四半期比4.0%増)となりました。増収に伴い売上総利益も増加しましたが、将来の成長を見据えた先行投資としての広告宣伝費、人件費の増加等により販管費が増加となり、営業利益は1,711百万円(前年同四半期比1.0%減)、為替差損の発生により経常利益は1,564百万円(前年同四半期比16.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,169百万円(前年同四半期比18.0%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① [スポーツ用品事業]

## イ. [日本]

国内では、バドミントン用品やウェアについては増収となり、テニス用品については、ソフトテニスラケットの新製品が好調であったものの、ストリングとシューズの売上が減少し、テニス用品全体では前年並みで推移しました。またゴルフ用品は、アイアンが堅調で微増となりました。海外代理店向けの売上については、シャトルコック、ストリング、シューズを中心にバドミントン用品が好調で増収となりました。利益面については第1四半期に比べ改善した生産性や円高による売上総利益の増加が、選手契約等の広告宣伝費、人件費の増加等による販管費の増加を上回りました。

この結果、売上高は20,550百万円(前年同四半期比4.3%増)、営業利益は857百万円(前年同四半期比10.4%増)となりました。

## ロ. [北米]

北米販売子会社では、バドミントン用品については前年並みで推移し、テニス用品についてはストリングの売上が堅調だったものの、ラケットとシューズの売上が前年に満たず減収となりました。全体では現地通貨ベースで微減収となりましたが、為替換算の影響により増収となりました。利益面については、前期から継続して製品のプロモーションや販売体制を強化しており、販管費が増加しました。

この結果、売上高は1,091百万円(前年同四半期比1.0%増)、営業損失は18百万円(前年同四半期は70百万円の営業利益)となりました。

## ハ. [ヨーロッパ]

ヨーロッパ販売子会社では、バドミントン用品は前年並みで推移し、テニス用品については減収となりました。ウェア、アクセサリ等の売上増により現地通貨ベースでは全体で微増収となりましたが、為替換算の影響により減収となりました。利益面については、セールスマックスの変化により売上総利益率が低下し、販管費は前年並みとなりました。

この結果、売上高は1,179百万円(前年同四半期比3.7%減)、営業損失は16百万円(前年同四半期は23百万円の営業利益)となりました。

ニ. [アジア]

売上については、中国販売子会社では、4月に発売したバドミントンシューズの新製品が売上を牽引したことや在庫調整が一定程度進捗したことによって回復基調となり、為替換算によるマイナス影響を加味しても増収となりました。台湾子会社では、バドミントンラケットやシューズ等の売上が回復し増収となりました。

利益については、5月に南寧で開催されたバドミントンの世界国別対抗戦や情報発信強化に伴う戦略的投資により広告宣伝費が増加しましたが、増収及び台湾製造部門の生産量増加に伴う売上総利益の回復により、増益となりました。

この結果、売上高は8,659百万円（前年同四半期比5.0%増）、営業利益は831百万円（前年同四半期比9.9%増）となりました。

これらの結果、各地域セグメントを合計したスポーツ用品事業の売上高は31,480百万円（前年同四半期比4.1%増）、営業利益は1,653百万円（前年同四半期比1.7%増）となりました。

② [スポーツ施設事業]

スポーツ施設事業の中核をなすヨネックスカントリークラブは、7月以降は長梅雨や猛暑等もありましたが、キャンペーンやコンペの開催により入場者数が増加し、4月からの累計でも増加となりました。利益については人件費等の増加により減益となりました。

この結果、スポーツ施設事業の売上高は339百万円（前年同四半期比2.0%増）、営業利益は69百万円（前年同四半期比15.3%減）となりました。

(注) セグメント別の記載において、売上高については、「外部顧客への売上高」について記載し、営業損益については、「調整額」考慮前の金額によっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、55,259百万円となり、前連結会計年度末に比べて987百万円の増加となりました。その主な要因は、国際財務報告基準を適用する在外連結子会社のIFRS第16号「リース」の適用による使用権資産の増加に加え、現金及び預金の増加及び信託受益権の減少によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、16,986百万円となり、前連結会計年度末に比べて208百万円の増加となりました。その主な要因は、国際財務報告基準を適用する在外連結子会社のIFRS第16号「リース」の適用によるリース負債の増加に加え、支払手形及び買掛金の増加及び未払金の減少によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、38,273百万円となり、前連結会計年度末に比べて778百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加及び為替換算調整勘定の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の業績は増収となったものの、中長期視点でのマーケティング投資による販管費の増加で営業利益は前年同期並みとなっております。今後はスポーツ界が盛り上がる国内をはじめグローバルでのマーケティング施策、引き続き回復基調となっているアジアでの販売増と生産性向上による売上総利益率のさらなる改善に取り組み、予想業績の達成を目指してまいります。現時点において、主要数値は当初予想の範囲内に留まっておりますので、2019年5月9日に公表しました通期業績予想は変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	11,119,768	11,534,342
受取手形及び売掛金	12,867,386	12,944,757
商品及び製品	6,371,038	6,605,193
仕掛品	1,249,303	1,236,195
原材料及び貯蔵品	1,012,955	1,101,219
その他	1,373,918	1,255,576
貸倒引当金	△34,776	△38,528
流動資産合計	33,959,592	34,638,757
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物（純額）	5,621,579	5,534,063
土地	8,439,691	8,430,715
その他（純額）	2,778,938	3,397,493
有形固定資産合計	16,840,210	17,362,272
<b>無形固定資産</b>		
のれん	145,833	130,482
その他	332,856	303,922
無形固定資産合計	478,690	434,404
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	115,167	99,339
長期預金	400,000	400,000
繰延税金資産	2,000,264	1,861,395
その他	480,216	464,991
貸倒引当金	△1,392	△1,392
投資その他の資産合計	2,994,256	2,824,334
固定資産合計	20,313,156	20,621,011
資産合計	54,272,748	55,259,769

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,449,510	3,877,643
未払金	1,749,139	1,339,120
1年内返済予定の長期借入金	668,629	668,629
未払法人税等	381,786	370,949
未払消費税等	127,942	129,291
賞与引当金	789,490	770,655
役員賞与引当金	21,479	11,600
設備関係支払手形	468	—
その他	944,426	1,320,259
流動負債合計	8,132,872	8,488,147
固定負債		
長期借入金	3,065,277	2,782,500
退職給付に係る負債	3,281,428	3,084,390
役員退職慰労引当金	263,527	226,110
株式給付引当金	86,390	44,452
長期預り保証金	1,851,274	1,850,257
その他	97,265	510,858
固定負債合計	8,645,163	8,498,570
負債合計	16,778,035	16,986,718
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,706,600	4,706,600
資本剰余金	7,662,879	7,682,310
利益剰余金	27,588,595	28,539,033
自己株式	△1,334,863	△1,276,638
株主資本合計	38,623,211	39,651,306
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,685	1,153
為替換算調整勘定	△713,020	△994,355
退職給付に係る調整累計額	△462,990	△415,895
その他の包括利益累計額合計	△1,168,325	△1,409,097
非支配株主持分	39,827	30,841
純資産合計	37,494,713	38,273,050
負債純資産合計	54,272,748	55,259,769

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	30,584,687	31,820,578
売上原価	17,386,267	18,152,864
売上総利益	13,198,419	13,667,713
販売費及び一般管理費	11,469,438	11,955,907
営業利益	1,728,981	1,711,806
営業外収益		
受取利息	18,798	18,311
受取賃貸料	8,423	7,738
為替差益	101,332	—
その他	18,030	17,170
営業外収益合計	146,584	43,220
営業外費用		
支払利息	6,806	26,109
売上割引	2,626	1,748
為替差損	—	160,596
その他	570	2,523
営業外費用合計	10,003	190,978
経常利益	1,865,562	1,564,048
特別利益		
固定資産売却益	158,521	—
投資有価証券売却益	—	9,654
国庫補助金	—	135,996
特別利益合計	158,521	145,650
特別損失		
投資有価証券売却損	—	336
特別損失合計	—	336
税金等調整前四半期純利益	2,024,083	1,709,362
法人税、住民税及び事業税	511,632	436,665
法人税等調整額	86,405	112,201
法人税等合計	598,037	548,867
四半期純利益	1,426,045	1,160,495
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△8,985
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,426,045	1,169,480

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,426,045	1,160,495
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,206	△6,532
為替換算調整勘定	△423,293	△281,334
退職給付に係る調整額	31,943	47,095
その他の包括利益合計	△399,555	△240,771
四半期包括利益	1,026,490	919,723
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,026,490	928,708
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△8,985

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

一部の海外連結子会社は、第1四半期連結会計期間の期首からIFRS第16号「リース」を適用しております。

これに伴い、借手のリース取引については、原則すべてのリースについて使用権資産及びリース負債を認識するとともに、使用権資産の減価償却費とリース負債に係る支払利息を計上しております。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

当該会計基準の適用により、当第2四半期連結会計期間末における四半期連結貸借対照表は、使用権資産（有形固定資産のその他）が649百万円、リース負債（流動及び固定負債のその他）が727百万円それぞれ増加しています。

なお、当該会計基準の適用が当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	スポーツ用品事業					スポーツ 施設事業			
	日本	北米	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	19,697,800	1,081,423	1,225,230	8,247,078	30,251,532	333,154	30,584,687	—	30,584,687
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,676,645	15	4,750	1,916,311	6,597,723	20,730	6,618,453	△6,618,453	—
計	24,374,446	1,081,438	1,229,981	10,163,390	36,849,256	353,884	37,203,141	△6,618,453	30,584,687
セグメント利益	777,122	70,213	23,431	756,272	1,627,040	81,784	1,708,825	20,155	1,728,981

(注) 1. セグメント利益の調整額20,155千円は、セグメント間取引消去及び棚卸資産の調整額等であり  
ます。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	スポーツ用品事業					スポーツ 施設事業			
	日本	北米	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	20,550,005	1,091,956	1,179,761	8,659,012	31,480,736	339,841	31,820,578	—	31,820,578
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,721,214	171	7,183	1,911,366	6,639,935	20,756	6,660,692	△6,660,692	—
計	25,271,219	1,092,128	1,186,945	10,570,378	38,120,672	360,598	38,481,270	△6,660,692	31,820,578
セグメント利益 又は損失(△)	857,758	△18,641	△16,571	831,372	1,653,918	69,238	1,723,157	△11,350	1,711,806

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△11,350千円は、セグメント間取引消去及び棚卸資産の調  
整額等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。